



## 広げよう オレンジリボン ～STOP！！児童虐待～

毎月11日は「人権を確かめあう日」です

みなさんは「オレンジリボン」をご存知ですか？これは「子どもの虐待防止活動」のシンボルです。オレンジ色は子どもの未来を表すと言われています。オレンジリボン運動は、2004年に栃木県で起きた幼い兄弟の虐待死をきっかけに始まりました。

令和3年度中、全国225か所の児童相談所が児童虐待相談として対応した件数は207,659件（速報値）で、過去最多となりました。また全国の警察が検挙した児童虐待は2,174件。その内、死亡した子どもは54人でこのうち29人が無理心中です。約1週間に1人、虐待により命が奪われています。あなたはこの現状について、どう思いますか？

虐待を受けた子どもたちは、非常に低い自己評価が特徴的に顕れます。「おまえは何をしてもダメだ」「要らない子どもだ」などのメッセージを有形無形に受け、自分を肯定できなくなるからです。「生まれてこなければよかった」「生きていてもしかたがない」という思いが生まれ、誰にも愛されない、居場所がないという不安定さを作り出します。そうした子どもには深い悲しみと怒りが内在しています。そうして傷ついた子どもたちは、さまざまな行動でメッセージを出しています。そして心の奥底で信頼できる大人を捜しています。

子どもは大人によって守られるべき存在であり、特別な保護が必要です。それが、いともたやすく大人の勝手な都合で子どもの人格や命を奪っています。子どもは誰かの所有物ではありません。子どもだからといって、好き勝手に扱っている権利は誰にもありません。

11月は「児童虐待防止推進月間」です。この機会にもう一度自分の身近なところに目を向けてみませんか？救われるべき命がそこにはあるはずです。

2022. 11

宇陀市人権啓発活動推進本部

※このピラへのご意見・ご感想は  
☎0745-82-2147または [jinken@city.uda.lg.jp](mailto:jinken@city.uda.lg.jp)

